

＜ あなたの治療について ＞

血内 - IsaKD (2c 以降) - MM - q4w

今回の治療は、IsaKD という治療法で、サークリサ (Isa)、カイプロリス (CFZ)、デキサート (DEX) という注射薬とレナデックス (DEX) という内服薬を併用して行います。サークリサ、カイプロリスは、腫瘍の増殖を抑えるお薬です。デキサート、レナデックスは副腎皮質ステロイドですが抗腫瘍効果があり、また、前記の薬と併用して治療を手助けする大事な役目をはたしています。4つの薬を組み合わせることで、より効果を高めることができます。

◎ 治療全体の流れ

今回の化学療法は4週間が1コースとなっています。各コースの1、2、8、9、15、16日目に点滴を行います。この治療を4週間(28日間)ごとに繰り返します。副作用が強く出たり、体調がすぐれない場合は回復するまで、治療を延期したり、お薬の量を減らしたりすることがあります。

◎ 1コース分の治療スケジュール

	薬剤商品名 (薬の作用)	投与	1日目	2日目	3～7 日目	8日目	9日目	10～14 日目
①	レナデックス錠 (ステロイド) 20mg/body	内服	お休み		お休み			お休み

	薬剤商品名 (薬の作用)	投与	1日目	2日目	3～7 日目	8日目	9日目	10～14 日目
①	レスタミン錠 (アレルギーを抑える薬)	内服		お休み				
②	アセリオ デキサート ファモチジン (アレルギーを抑える薬・ 吐き気止め・ステロイド剤)	点滴 約15分						
	15分以上、間隔をあけます							
③	サークリサ (抗がん剤) 10mg/kg	点滴 175mg/時～						
④	カイプロリス (抗がん剤) 56mg/m ²	点滴 約30分			お休み			お休み

	薬剤商品名 (薬の作用)	投与	15日目	16日目	17～21 日目	22日目	23日目	24～28 日目
①	レナデックス錠 (ステロイド) 20mg/body	内服	お休み		お休み			お休み

	薬剤商品名 (薬の作用)	投与	15日目	16日目	17～21 日目	22日目	23日目	24～28 日目
①	レスタミン錠 (アレルギーを抑える薬)	内服		お休み				
②	アセリオ デキサート ファモチジン (アレルギーを抑える薬・ 吐き気止め・ステロイド剤)	点滴 約15分						
	15分以上、間隔をあけます							
③	サークリサ (抗がん剤) 10mg/kg	点滴 175mg/時～		お休み				
④	カイプロリス (抗がん剤) 56mg/m ²	点滴 約30分						

★ 点滴中や点滴後に、注射部位が痛い、赤くなったりはれる、水ぶくれができる、ただれるなどの症状に気づいたときは、すぐに申し出てください。また点滴中は、腕を動かすことにより針がずれ、点滴漏れが生ずることがありますので気をつけて下さい。

◎起こりやすい副作用について (頻度 20%以上)

サークリサ、カイプロリスによる

●感染症 ●インフュージョンリアクション ●血小板減少、貧血

◎特徴的な副作用について

サークリサにおける

●インフュージョンリアクション

「呼吸困難、意識の低下、意識の消失、まぶた・唇・舌のはれ、発熱、寒気、嘔吐（おうと）、咳、めまい、動悸（どうき）、全身のかゆみ、じんま疹、喉のかゆみ、ふらつき、息苦しい、息切れ、息がぜいぜいする、息をするときヒューヒューと音がする、突然の息切れ、鼻づまり、頭痛、肩こり、顔のほてり、体がだるい、吐き気、胃がむかむかする、胸やけ」などの症状

カイプロリスにおける

●肝不全、肝機能障害

「意識の低下、白目が黄色くなる、皮膚が黄色くなる、体がかゆくなる、尿の色が濃くなる、お腹が張る、急激に体重が増える、血を吐く、便に血が混ざる（鮮紅色～暗赤色または黒色）、疲れやすい、体がだるい、力が入らない、吐き気、食欲不振」などの症状

●QT 間隔延長

「めまい、動悸、気を失う」などの症状

●インフュージョンリアクション

「発熱、悪寒、関節痛、筋痛、顔面潮紅、顔面浮腫、嘔吐、脱力、息切れ、低血圧、失神、胸部絞扼感、狭心症」などの症状

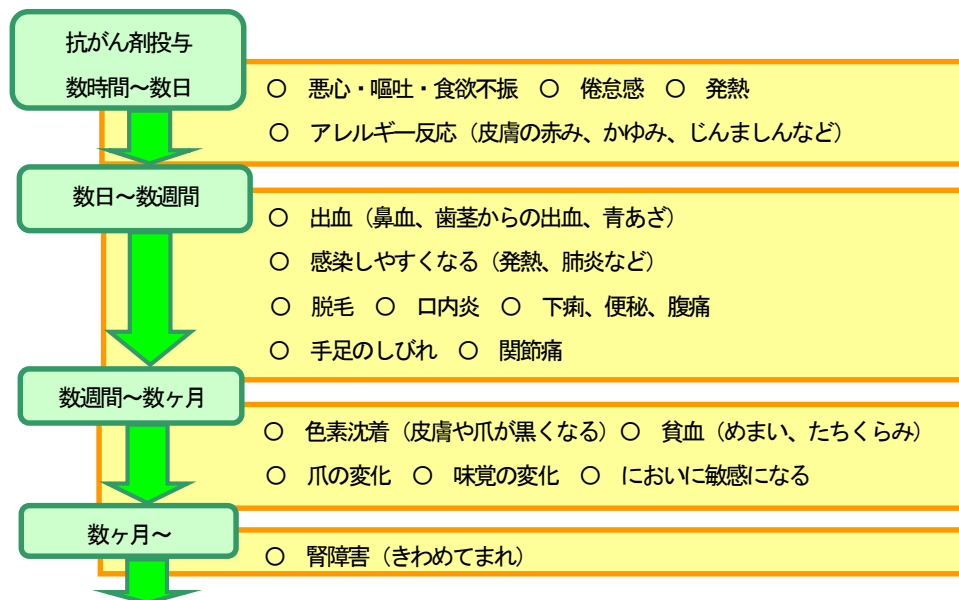
***上記症状が現れたときは、必ず医師・看護師・薬剤師にご相談下さい。**

◎副作用の発現時期の目安

*この図は、今回用いられている抗癌剤による副作用だけでなく、他の抗癌剤によって起こる副作用も含まれています。

これらの副作用がすべてあらわれるわけではありません。

また、発現する時期や程度も抗癌剤の種類や患者さんの体質により個人差があります。



◎副作用の対策について

★吐き気・嘔吐、下痢と便秘、口内炎、感染症、出血、貧血、脱毛などの副作用の対策について知りたい方は、資料をお渡しすることができますのでお申し出下さい。

◎薬品毎の副作用について（添付文書における重大な副作用を製薬会社作成「薬のしおり」などから抜粋）

まれな副作用ですが、このような症状が現れた際には医師・薬剤師・看護師へご相談下さい。

【サークリサ】

〔インフュージョンリアクション〕呼吸困難、咳、寒気

〔骨髄抑制〕貧血、血が止まりにくい、体がだるい

〔感染症〕発熱、咳、倦怠感

【カイプロリス】

〔心障害〕動悸、息切れ、むくみ、胸の痛み

〔間質性肺疾患〕発熱、から咳、呼吸困難

〔肺高血圧症〕呼吸困難、胸の痛み

〔肝不全、肝機能障害〕全身倦怠感、食欲不振、皮膚や白目が黄色くなる

〔急性腎障害〕尿量が減る、むくみ、頭痛

〔腫瘍崩壊症候群〕意識の低下、尿量が減る、息切れ

〔骨髄抑制〕発熱、出血しやすい、疲れやすい、息切れ

〔インフュージョン・リアクション（薬剤注入に伴う反応）〕発熱、関節痛、顔面潮紅、嘔吐、息切れ、失神

〔血栓性微小血管症〕出血しやすい、鼻血、歯肉出血、紫斑、血尿

〔可逆性後白質脳症候群、脳症〕けいれん、頭痛、意識障害、視力障害

〔高血圧、高血圧クリーゼ〕頭痛、頭重、めまい、肩こり

〔静脈血栓塞栓症〕むくみ、熱感、局所の痛み

[出血] 突然の頭痛、意識障害、運動のまひ、腹痛、血を吐く、便が黒くなる

[感染症] かぜのような症状、全身倦怠感、発熱、嘔吐

[消化管穿孔] 吐き気、嘔吐、激しい腹痛、血を吐く、下血

◎ **上記のほかにも副作用が現れることがあります。**

他にもからだの異常を感じたら、主治医や薬剤師、看護師に相談してください。